

iPod再生を一新！ トップレベル技術の単品スピーカーと スタイリッシュに磨きをかけた「Tシリーズ」第3世代モデルを発表

第3世代 Tシリーズ

デジタルオーディオプレーヤー(DAP)の普及を牽引するiPodは、年間650万台のDAP市場で6割近いシェアがあります。2004年のiPod miniのヒット以降、iPodユーザーは1,000万人をこえたと言われ、その多くはより良い音を求めて、家庭用にiPod用スピーカーを検討する傾向が見られます。しかし、iPod用スピーカーではiPodのみの再生に限定されて音楽CDやラジオが楽しめない、またメインのオーディオ機器の音質としては物足りないといった声がありました。そこでオンキヨーは、潜在的に求められているiPod、CDの再生ニーズを満たす高性能オーディオの開発を進め、「Tシリーズ」は本格CD/iPodコンポとしてナンバーワンの支持をいただいております(オンキヨー調べ)。このたび発売する第3世代の「Tシリーズ」は、小型高品質化技術を惜しみなく投入し、ハイファイ直系の豊かな音質を、一般的なミニコンポ本体の奥行き(300~350mm程度)にくらべて約30%薄い215mmのスリムボディで実現しました。iPod再生を一新させ、音楽CDやラジオも豊かなサウンドで楽しめるメインシステムとして提案してまいります。

IMAGINATIVE SIGHT & SOUND

ONKYO[®]

プレスお問合せ先 オンキヨー株式会社 営業管理部 山本誓一 TEL.072-831-8005
写真画像はこちらから www.jp.onkyo.com/onkyo/ の「New Products」より当製品をクリックください
掲載時のお客様お問合せ先 オンキヨーコールセンター TEL.050-3161-9555



X-T2CR

iPodドック付属 CDチューナーアンプシステム

オープン価格 4月17日発売予定

- iPod専用ドックを標準装備。ハイファイ直系の音質技術を投入した本格CD/iPodコンポ
- 高品位な低音増強を可能に。トップレベル・パスレフ技術「エアロコースティックドライブ」を搭載
- 付属リモコンにより、iPodの音楽ライブラリの再生/一時停止などの主要操作が可能。iPodの充電機能も装備
- スピーカーユニットを振動板から自社生産。上位モデルの設計で開発された高級振動板「A-OMFコーン」を採用
- 可聴帯域の上限をはるかに超える50kHzまで。伸びやかな高域再生を実現する「バランスドーム型ツイーター」を採用
- 電氣的ノイズを発生しにくい制振ボディに。高剛性のアルミ素材をフロントパネルに採用して音質劣化を低減
- 低音/高音を10段階ずつレベル調整できるトーンコントロール機能、重低音をさらに強調できるS.BASS機能を装備
- 音楽用CD-R/RW再生可能

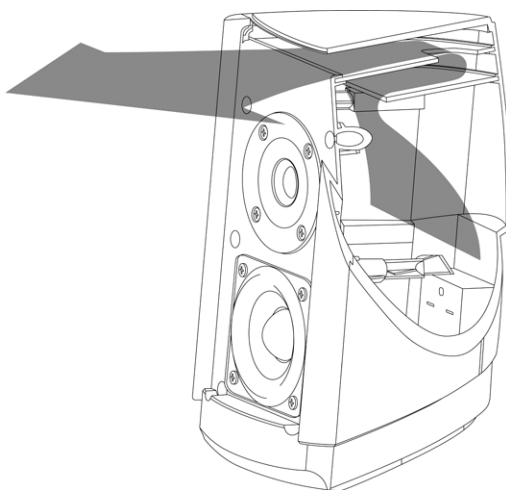
実用最大出力	10W+10W(6Ω、JEITA)
アンプ部周波数特性	20Hz~20kHz/±3dB
スピーカー	ウーファー:8cm A-OMFコーン ツイーター:2cmバランスドーム
FM/AM受信範囲	FM76.0~90.0MHz、AM522~1629kHz
音声入出力端子	入力:アナログ1 出力:デジタル1、アナログ1、サブウーファープリ1
最大外形寸法	本体部:W300×H203×D215mm スピーカー部:W128×H243×D217mm(1台)
質量	本体部:3.2kg スピーカー部:1.0kg(1台)
付属品	iPod専用ドック、リモコン、スピーカーケーブル×2、RCAステレオピンケーブル、RFケーブル

音声出力に対応するiPod iPod touch/iPod classic/iPod(第4世代以降)/iPod photo/iPod nano/iPod mini

主なテクノロジー

トップレベルの低音増強技術で、音楽に躍動感を

「コンパクトオーディオの音は貧弱」という常識を覆すために、オンキヨーが出した答えは高級単品スピーカーの技術をいかんにして組み込むかということでした。「エアロアコースティックドライブ」は、オンキヨー技術が開発したスリット型バスレフダクトの呼称です。バスレフはキャビネット内で発生した空気振動エネルギーを放出して低音再生を増強する技術ですが、一般的な丸型円筒のダクト形状では内部で発生したノイズも放出しやすく、低音そのものが「こもり」の原因となってしまいます。その結果、楽器やヴォーカルの再生音を曇らせ、音楽の躍動感を損なっていました。独自のスリット型バスレフ構造は、従来の「こもった重低音」を払拭して低音の質感を高め、たとえば演奏者が楽器を弾く強弱がいきいきと再現されるような豊かな音楽再生を実現します。



CD & iPodを本格サウンドで再生、「X-T2CR」

TシリーズのiPodドック付属モデル「X-T2CR」は、音楽CD、ラジオに加えて、iPodの再生に対応しています。付属のリモコンで、iPodの音楽ライブラリの再生/一時停止、スキップアップ/ダウン、ボリューム調整などの主要操作がコントロール可能です。膨大なiPodの音楽ライブラリを、音楽CDなどと同じように本格コンポの豊かな音質で楽しんでいただけます。iPodの充電機能ももちろん装備しています。



主なテクノロジー

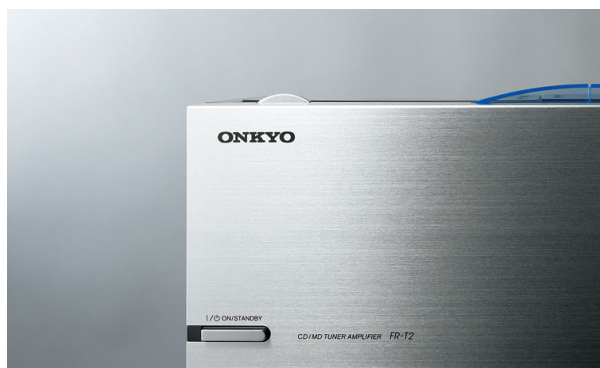
振動板素材から設計する本格スピーカーユニット

オンキヨーは、スピーカーの心臓部と言われるスピーカーユニットを振動板の素材開発から行い、こうして生み出された本格スピーカー技術を各製品へ投入しています。Tシリーズの2モデルにも、この設計理念をもとに開発された高級振動板「A-OMFコーン」を採用しています。強靱で固有の雑音成分が少ない振動板の理想像を追求して、オンキヨーの上位モデルの設計とともに開発された振動板素材です。まさに単品スピーカーを設計してそのまま搭載するという本格仕様を継承しています。またツイーターには、可聴帯域上限とされる20kHzをはるかにこえる、50kHzまで再生可能なバランスドーム型を採用しました。コンパクトスピーカーとは思えない高域再生能力を獲得しています。



上質のアルミ素材。音質を守る細部へのこだわり

スピーカーなど外部からの振動がオーディオ回路に伝わると、基板上のコンデンサーなどのパーツがマイクロフォンのように働き、ノイズを発生させてしまいます。このような悪影響を避けるため、フロントパネルには制振性に優れたアルミニウムを採用しています。外部振動による音質劣化を防ぐとともに、インテリアとしての上質さにもこだわりました。



シンプルなCD/MDタイプのシステム、「X-T2」

TシリーズにはiPodドックを付属した「X-T2CR」のほかに、音楽CD、MD、ラジオをシンプルに楽しめるタイプをご用意しています。ご家庭のメインオーディオとして、まずは大切な音楽CDやMDを楽しみたいという方に提案するモデルです。もちろん単品販売のiPod専用ドックをシステムに組み合わせれば、X-T2CRと同様にiPodの再生やリモコン操作ができるようになります。



Tシリーズ CD/MDモデル X-T2
3月14日発売予定 オープン価格

商標について iPodは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。その他の名称については、一般に各開発メーカーの商標または登録商標です。